

September 3, 2020

【前日の為替概況】ドル円、ダウ平均の上昇を受けて 106.30 円まで続伸

2日のニューヨーク外国為替市場でドル円は3日続伸。終値は106.18円と前営業日NY終値(105.96円)と比べて22銭程度のドル高水準。8月米ISM製造業景気指数が良好だったことを材料にドル買い戻しが進んだ前日の流れが継続し、106.30円と日通し高値を付けた。米10年債利回りが低下に転じたことも相場の重しとなり106.11円付近まで下押しした。ダウ平均が510ドル超上昇し、約半年ぶりの高値を更新すると106.30円まで強含む場面もあったが、一目雲下限を上抜けることは出来なかった。

ウィリアムズ米NY連銀総裁は「2%超のインフレを容認する米連邦準備理事会(FRB)の新戦略は物価安定と最大雇用の二大目標を達成する能力を強化する」との認識を示したものの、目立った反応は見られなかった。8月ADP全米雇用報告で政府部門を除く非農業部門雇用者数は42.8万人増と予想の95.0万人増を下回ったが、相場の反応は限られた。

ユーロドルは続落。終値は1.1855ドルと前営業日NY終値(1.1912ドル)と比べて0.0057ドル程度のユーロ安水準。欧州中央銀行(ECB)当局者のユーロ高けん制発言への警戒感が強まる中、1.1822ドルと日通し安値を更新した。ただ、米長期金利が低下したこともあって引けにかけては下げ渋った。

ポンドドルは軟調だった。バルニエ欧州連合(EU)首席交渉官は「10月末の厳格な締め切りに対して現実的になるべき」「英国は漁業権問題について妥協点を探す姿勢を見せていない」「英国は公平で開かれた競争を保証することを拒んでいる」などと発言。英国がEUと自由貿易協定(FTA)を締結できないまま、EU離脱の移行期限である年末を迎えるリスクが意識されて、ポンド売りが広がった。ラムスデン・イングランド銀行(BOE)副総裁が「必要な量的緩和(QE)ペースを大幅に拡大することが可能」と述べたこともポンド売りを促し、一時1.3284ドルと日通し安値を付けた。

ユーロ円は続落。終値は125.88円と前営業日NY終値(126.21円)と比べて33銭程度のユーロ安水準。7月独小売売上高指数が予想を下回ったことを受けて円買い・ユーロ売りが先行。ユーロドルの下落につれた売りも出て125.56円と日通し安値を更新した。

【本日の東京為替見通し】ドル円、明日の米8月雇用統計控えて動意に乏しい展開か

本日の東京外国為替市場のドル円は、明晩発表される米8月雇用統計を控えて動意に乏しい展開が予想される。

ドル円のテクニカル分析では、昨日は高値106.30円まで上昇したものの、一目均衡表の抵抗帯である雲の下限106.31円が上値を抑える展開となっており、本日の雲下限は106.26円、明日は105.98円に低下していく。また、酒田野線法では、8月28日の安倍首相辞任表明を受けた大陰線(始値106.57円・終値105.37円)に対して、3手連続陽線でも106.30円までで、大陰線を埋め切れなかったことで「下げ三法」での売りシグナルが点灯している。

米8月雇用統計は、パウエルFRB議長が、FRBの2つの使命デュアルマンド(雇用最大化と物価安定)の内、「雇用最大化」を重視して、「物価安定」は2%超のインフレ率を容認する新戦略を打ち出したことで、注目度が増している。15-16日の米連邦公開市場委員会(FOMC)では、フォワードガイダンスの強化や量的金融緩和の拡大観測が高まっていることで、ドル売り圧力が高まりつつある。

■米国雇用関連指数 【8月】 【7月】(○改善・●悪化)

●非農業部門雇用者数(予想): +140万人 +176.3万人

○ISM製造業雇用指数: 46.4 44.3

○ADP全米雇用者数: 42.8万人 21.2万人

○失業保険継続受給者数: 1453.5万人 1695.1万人 (▲241.6万人)

ユーロドルは、欧州中央銀行(ECB)で、ドラギ第3代ECB総裁とラガルド第4代ECB総裁のブレインとして金融政策を采配しているレーン欧州中央銀行(ECB)専務理事兼主任エコノミストが、マイナスインフレ率やユーロドル上昇に対して警戒感を示したことで、反落基調にあり、来週の欧州中央銀行(ECB)理事会での追加緩和策の可能性が警戒されている。

ポンドドルは、英国と欧州連合(EU)の自由貿易協定(FTA)を巡る通商交渉が難航して通商合意無きブレグジット(英国の欧州連合からの離脱)の可能性が高まっていること、イングランド銀行による追加緩和策への警戒感から反落基調にある。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

- 08:50 ◇ 対外対内証券売買契約等の状況（週次・報告機関ベース）
- 10:30 ◎ 片岡剛士日銀審議委員、あいさつ

<海外>

- 10:30 ◇ 7月豪貿易収支（予想：54億豪ドルの黒字）
- 10:45 ◎ 8月Caixin中国サービス部門購買担当者景気指数（PMI、予想：53.9）
- 15:30 ◎ 8月スイス消費者物価指数（CPI、予想：前月比0.1%）
- 16:00 ◎ 8月トルコCPI（予想：前月比1.00%/前年比11.91%）
- 16:50 ◎ 8月仏サービス部門PMI改定値（予想：51.9）
- 16:55 ◎ 8月独サービス部門PMI改定値（予想：50.8）
- 17:00 ◎ 8月ユーロ圏サービス部門PMI改定値（予想：50.1）
- 17:30 ◎ 8月英サービス部門PMI改定値（予想：60.1）
- 18:00 ◎ 7月ユーロ圏小売売上高（予想：前月比1.0%/前年比1.9%）
- 20:30 ◇ 8月米企業の人員削減数（チャレンジャー・グレイ・アンド・クリスマス社調べ）
- 21:30 ◇ 7月カナダ貿易収支（予想：25.0億カナダドルの赤字）
- 21:30 ◎ 7月米貿易収支（予想：580億ドルの赤字）
- 21:30 ◇ 4-6月期米非農業部門労働生産性・改定値（予想：前期比7.5%）
- 21:30 ◎ 前週分の米新規失業保険申請件数/失業保険継続受給者数（予想：95.0万件/1400.0万人）
- 22:45 ◎ 8月米サービス部門PMI改定値（予想：54.7）
- 22:45 ◎ 8月米総合PMI改定値
- 23:00 ☆ 8月米サプライマネジメント協会（ISM）非製造業指数（予想：57.0）
- 23:00 ◎ ベイリー英中銀（BOE）総裁、講演
- 23:00 ◎ ラムスデンBOE副総裁、講演
- 24:00 ◎ シュナーベル欧州中央銀行（ECB）専務理事、講演
- 4日01:30 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、討議に参加
- 米財務省3年、10年、30年債入札条件

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

2日 09:34 オア NZ 準備銀行(中央銀行、RBNZ) 総裁
「低金利が全体的に効果的となっている」
「追加的な手段にはマイナス金利やさらなる量的緩和が含まれる」
「我々の目標は変わっていない」
「為替レートを懸念していない」

2日 10:19 ペロシ米下院議長(米民主党)
「ムニューシン米財務長官と電話会談を行い、コロナ対策において深刻な認識の違いがあることが分かった」

2日 10:42 若田部日銀副総裁
「日本銀行の強力な金融緩和措置は、効果を発揮している」
「国際金融資本市場は、リーマン・ショック時に比べると、比較的短期間で落ち着きを取り戻し、大きな変動は回避できている」
「経済活動が感染症以前の水準に戻るには、時間がかかる」とみられる」
「経済・物価の見通しについては、不透明感が強く、下振れリスクの方が大きい」
「感染症の影響を注視し、必要があれば、躊躇なく追加的な金融緩和措置を講じていく」

2日 16:17 コッフィー英労働・年金相
「この時期にスコットランド独立投票の法案が出されたことは驚き」
「英全体で人々は仕事に戻りつつある」

2日 16:43 中国外務省
「中国が核弾頭保有数を倍増させるという米国防省レポートは偏見に満ちており、我々は否定する」
「中印国境沿いでインドの兵士は亡くなっていない」

2日 17:08 菅官房長官
「安倍首相の取り組みを継承し、さらに前に進めるために持てる力を全て尽くす覚悟」

2日 18:37 中国人民銀行
「外国の機関投資家が中国の債券デリバティブやETFを取引することを許可」

2日 18:56 バーキン米リッチモンド連銀総裁
「労働市場の回復は想定よりも鈍い」
「FRBは充分で持続的な支援を提供し続ける必要があ

るだろう」
「長期に渡って低金利を続けると、市場にリスクな行動を呼び込む可能性はある」

2日 19:10 ラーブ英外相
「外国への援助費用を防衛や諜報予算に流用するという報道内容は噂話だ」

2日 19:36 イングベス・リクスバンク(スウェーデン中銀) 総裁
「社債の購入は金融システムの安定を支援」
「コアインフレが1.5%となれば現在の経済状況として良い結果」

2日 21:34 バルニエ英EU離脱・欧州委員会首席交渉官
「10月末の厳格な締め切りに対して現実的になるべき」
「英政府は義務なしでEU特典の維持を望んでいる」
「英は漁業権問題について妥協点を探す姿勢を見せていない」
「英は公平で開かれた競争を保証することを拒んでいる」

2日 22:41 ブリハ英中銀金融政策委員会(MPC)委員
「今後数カ月のうちに景気は回復するだろうが、GDPはパンデミック前の水準を5%以上下回ると確信している」

2日 23:08 ポンペオ米国務長官
「インドと中国の国境問題は平和裏に解決することを望む」
「来週、東南アジア諸国連合(ASEAN)諸国と南シナ海、香港、ミャンマーについて話し合うのを楽しみにしている」

2日 23:10 ウィリアムズ米ニューヨーク連銀総裁
「FRBの新たな指針は雇用とインフレ目標達成を支援」
「2%のインフレに一時的に到達するだろう、しかし2%のインフレを維持するのに挑戦しなくてはならない」
「FRBはどの自然失業率にも縛り付けられてはいない」

2日 23:18 ベイリー英中銀(BOE)総裁
「家計消費はパンデミック前の水準に近付いている」
「ただし家計消費は非常に不安定」
「消費の回復は今のところ非常に速い」
「投資は弱いまま」

2日 23:40 ブロードベント・イングランド銀行(BOE)副総裁
「インフレ期待が目標から乖離する兆候はない」

※時間は日本時間

2 日 23:48 ラムスデン・イングランド銀行(英中銀、BOE)
副総裁
「BOE は必要なら量的緩和(QE)ペースを大幅に拡大することが可能」

3 日 01:06 メスター米クリーブランド連銀総裁
「米国の回復はもろい」
「経済成長は第 2 四半期で底を打ち、第 3、第 4 四半期はプラス成長が見込まれる」
「持続可能な回復はより多くの財政支援によるだろう」
「下方リスクが上方リスクを支配していること」
「FRB は長期に渡って回復の準備をする必要がある」
「経済が完全に回復するためには、金融政策と財政政策の支援が必要」
「労働市場がパンデミック前のレベルに戻るには数年かかるだろう」
「インフレが目標の 2%までに戻るのはしばらく時間がかかるだろう」

3 日 01:29 スナク英財務相
「増税のレポートは憶測にすぎない」
「新型コロナウイルスは我々の経済に深刻な打撃を受けた」
「短期的な優先事項は雇用の創出」

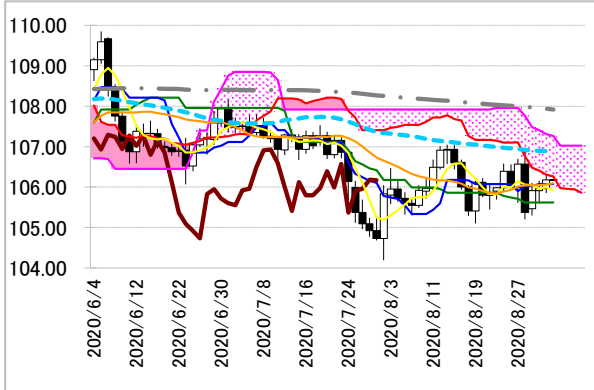
3 日 01:33 ツァブリュック SNB 副総裁
「為替介入は輸出業者の利益のためにフランを弱めることを意図していない」
「為替介入は物価安定の目標をサポートすることを目的としている」
「米国の為替操作リストのターゲットは常に中国」

3 日 02:02 バイトマン独連銀総裁
「ECB はパンデミック危機後に刺激策を終了するべき」
「臨時の財政支援策は一時的でなければならない」

3 日 03:00 米地区連銀経済報告(ページブック)
「米経済活動はほとんどの地区で拡大」
「経済活動はパンデミック前の水準をはるかに下回っている」
「複数の地区で雇用の伸びが鈍化」

3 日 06:23 フライデンバーグ豪財務相
「減税を前倒して実施する計画がある」

〔日足一目均衡表分析〕

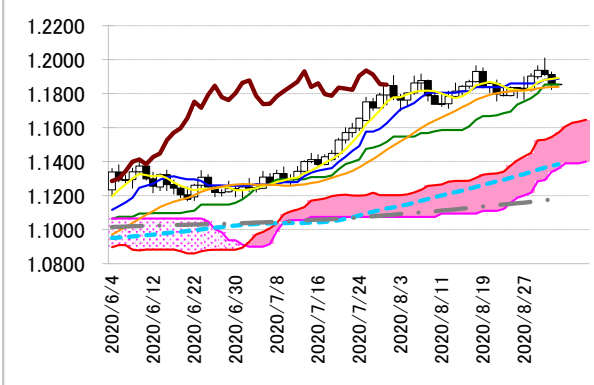


<ドル円=雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の下で引けているものの、買いシグナルが優勢な展開。しかし、3手連続陽線で反発したものの、28日の大陰線を上回ることが出来なかったことで、「下げ三法」の売りシグナルが点灯、反落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限 106.26 円を念頭に置き、雲上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	107.27(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	106.18
サポート 1	105.62(日足一目均衡表・基準線)
サポート 2	105.20(8/28 安値)

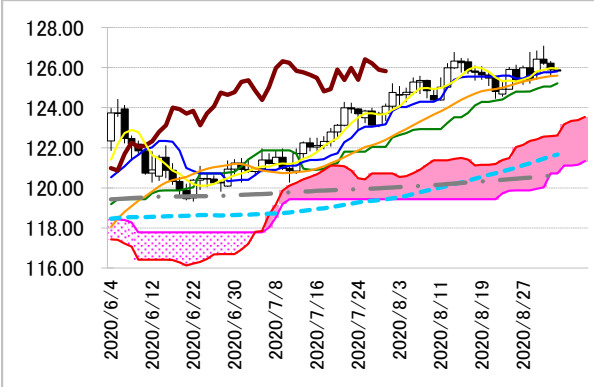


<ユーロドル=転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。高値圏での孕み線、2手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1887(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	1.1855
サポート 1	1.1763(8/27 安値)

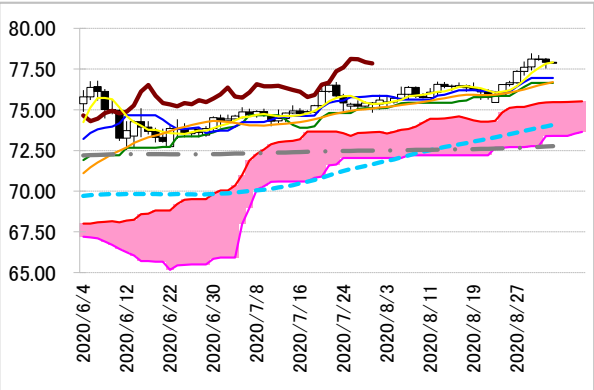


<ユーロ円=基準線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。2手連続陰線で反落しているものの、転換線を上回って引けていることで、反発の可能性が示唆されている。

本日は、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	127.08(9/1 高値)
前日終値	125.88
サポート 1	125.21(日足一目均衡表・基準線)



<豪ドル円=転換線を支持に押し目買いスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、一目・雲の上で引けていることで、三役好転の強い買いシグナルが点灯中。2手連続陰線で反落しているものの、転換線を上回って引けていることで、反発の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	78.46(8/31 高値)
前日終値	77.92
サポート 1	76.96(日足一目均衡表・転換線)

